

事務事業評価の評価結果について（平成28年度の事業に対する評価）

美杉総合支所

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成28年度）						事業の評価		所管課長等による評価	
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成29年度以降の事業の方向性	所見
美杉・地域振興課	出張所管理運営事業	高齢化率が非常に高い地域のため、諸手続や生活に係る様々な問合せが多く、地域に密着した対応が求められています。また、地域かがやきプログラムの南部エリアとして集落機能再生「きっかけづくり」推進事業を各地域で行い、地域住民による地域活性化を目的とした団体が組織されました。そのような中で、各出張所が窓口業務はもとより、地域コミュニティ活動の活性化を図るため、実情に応じた地域団体への支援に取り組んでいきます。	市民サービスの窓口及び地域コミュニティの形成に取り組みます	出張所の窓口証明・収納・相談及び地域の拠点施設として心豊かな地域コミュニティの形成に取り組めます。	90%	90%	戸籍・住民基本台帳等の交付事務、市税等の収納、各種受付相談業務を行い、市民生活の利便性を向上させる。	来庁者、利用者の満足を得ることが出来ました。また、地域の集落再生の一役を担うことが出来ました。	4	出張所の窓口には、日々の窓口業務だけではなく、市行政に限らず様々な地域の課題や悩みなどの相談があります。住民の皆さんから一番身近な行政窓口として、真に地域住民から信頼され必要とされる出張所であるよう努めました。	拡充・充実	平成29年度からは、長年の行政経験を生かした再任用職員が出張所長として配置されます。過疎高齢化が進む美杉地域において、出張所の果たす役割は、単に申請書類を受け付け交付するだけではなく、常に地域に寄り添い地域の課題を解決する最前線の組織であると考えます。 これからも住民の皆さんから一番身近な行政窓口として、真に地域住民から信頼され必要とされる出張所であるよう努めます。
美杉・地域振興課	会館、市民センター管理運営事業	コミュニティ施設（14施設内2施設は指定管理者）の維持管理及び貸館業務を行い、市民が利用しやすい運営を行います。	コミュニティ施設維持管理	コミュニティ施設（14施設内2施設は指定管理者）の維持管理や市民が利用しやすい貸館業務が行われているか。	90%	90%	コミュニティ施設（14施設内2施設は指定管理者）の維持管理及び貸館業務を適正に行います。	コミュニティ施設（14施設内2施設は指定管理者）の維持管理及び貸館業務が適正に行われました。	4	施設の維持管理は適正に行われており、コミュニティ拠点として利用されています。14施設の延べ利用者数47,869人	現状維持	施設の適切な維持管理に努めます。

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成28年度）					事業の評価		所管課長等による評価		
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成29年度以降の事業の方向性	所見
美杉・地域振興課	地域かがやきプログラム事業	<p>多様な主体と連携した集落機能の再生については、高齢者の豊かな経験や知識を活用するとともに、地域団体、NPO等とも連携しながら、地域コミュニティやその活動のあり方等を検討し、人と人とのつながりを大切にしながら心豊かな地域コミュニティの形成をめざします。</p> <p>暮らしの安全・安心づくりについては、地域住民の健康づくり支援や高齢過疎地域における医療体制の確立をめざし、地域の実情に合った利用しやすい公共交通システムの整備に向けた取り組みを進めます。</p> <p>森林を活かしたヘルスツーリズムの推進については、豊かな森林の恵みを活かした森林セラピーロードの整備や利用促進のためのPR活動を行う等、観光商品としての価値を高めることにより、ヘルスツーリズムを推進し、観光交流の拡大に取り組めます。</p> <p>豊かな自然環境の中での移住については、田舎暮らしを応援する各種制度の利用を促進するとともに、空き家情報バンクへの登録者を増やす工夫を行うなど、更なる定住・二地域居住に向けた取り組みを推進します。</p> <p>住民との連携による歴史・文化の保全と活用については、「歴史の道百選」にも選ばれた伊勢本街道の家並みの保全・活用や有形・無形文化財の保護と史跡の管理、歴史・文化の伝承活動等を進め、住民と共に磨いてきた伊勢本街道の魅力を活かし、地域における観光資源としてのブランドの確立をめざします。</p>	実施事業数	地域資源の有効な活用による地域づくりをめざし、高齢過疎地域と暮らしのための条件等課題解決を図り、地域の活性化と振興を推進するため、上記指標を設定します。	6事業	6事業		昨年同様地域の活性化につながるよう地域づくり事業の進捗ができた。	4	<p>課題克服が必要な事業も一部あるが、全体として本年度は概ね予定通り事業が進捗しました。</p> <p>地域の活性化のための具体的な取り組みなど課題解決を含め、地域と一体となった事業実施が必要です。</p>	拡充・充実	<p>地域主体の地域づくりの初動支援は平成25年度ですべての地域で完了したが、地域における事業は継続しており、地域との協働による事業の進捗を図り、地域資源を活用した地域づくりを進めていきます。</p> <p>また、まつり事業については地域主体の事業であり、地域コミュニティ形成のための促進方策であり事業継続による地域の活性化を推進していきます。</p>
美杉・地域振興課	地域情報発信事業	<p>地域振興に係る活動に対し、情報発信を行うなど支援等を行う。</p> <p>地域住民からの地域振興を始め行政全般にわたる相談等に応じ、総合支所及び本庁各部課等と調整を行う。</p>	地域だより12回発行	地域情報発信事業については、地域振興事業であり、指標設定が困難であるため、美杉だよりの発行回数を数値目標に設定します。	12回	12回	美杉だより月1回発行 美杉全戸配布 (年5回カラー版発行)	12回発行を行い目標達成できました。	4	<p>地域情報の提供、発信について美杉だよりを月1回発行し全戸配布を行った。</p> <p>地域に密着した情報の提供を図り、親しみやすい紙面作りに努めました。</p>	現状維持	<p>地域振興に係る活動に対し、情報提供を行うなどの支援等を行うことができた。</p>

美杉総合支所

評価：4=できている 3=概ねできている 2=課題克服が必要 1=未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成28年度）					事業の評価		所管課長等による評価		
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成29年度以降の事業の方向性	所見
美杉・地域振興課	過疎対策事業	過疎地域自立促進特別措置法に基づき過疎地域として指定されている美杉地域について、総合的かつ計画的な対策を実施するために、住民ニーズを踏まえた地域の自立促進のための指針となる津市過疎地域自立促進計画を策定することを目的とする。 また、過疎対策事業に係る情報収集や計画の進行管理を行います。	過疎対策事業の情報収集及び計画の進行管理	平成27年度において、平成28年度から平成32年度を計画期間とする、津市過疎地域自立促進計画を策定したため、今後は過疎対策事業に関連した情報収集や当計画に基づく進行管理を行います。			過疎対策事業に関連した情報収集や当計画に基づく進行管理を行います。	過疎対策事業に関連した情報収集や当計画に基づく進行管理を行った。	4	過疎対策に係る先進事例や国、県の動向等に関する情報収集、計画の進行管理等を行いました。	現状維持	地域の自立促進に資するため、今後この計画に係る進行管理や過疎対策事業に係る情報収集等に取り組んでいきます。
美杉・地域振興課	地域活性化事業	少子化、高齢化が特に進んでいる美杉地域の活性化を図るため、多様な歴史、文化、恵まれた自然環境など美杉の魅力を総動員し、交流人口及び定住人口の増加を図る施策を展開する。	国に提出したKPI指数	国から個々の事業に対するKPIの設定が求められており、各事業に対し事業指標を設定、それぞれの目標達成にむけた事業の取組を行う。			<ul style="list-style-type: none"> 道の駅「美杉」来場者数 50,000人 電動アシスト付き自転車利用者数 1,000人 移住・二地域居住者 3人 地域イベント来場者数 1,000人/1イベント 空き家情報バンク成立件数 4件 美杉の魅力発見塾利用者数 110人 	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅「美杉」来場者数 33,916人 電動アシスト付き自転車利用者数 1,953人 移住・二地域居住者 11人 地域イベント来場者数 1,500人/1イベント 空き家情報バンク成立件数 8件 美杉の魅力発見塾利用者数 100人 	4	「田舎暮らし体験塾」を実施し、100人の利用があった。パンフレットの作成・配布、雑誌広告、テレビ放送等により美杉地域の多様な歴史、文化、恵まれた自然環境などの魅力を東海、近畿を中心に全国に発信しPRすることができた。 イベントの開催や電動アシスト付き自転車の導入により、観光客の受け入れ態勢の充実が図れ、地域のPRと相まって交流人口の増大に資することができた。 また、地域のPRと空き家リノベーション補助事業により、移住や二地域居住者が増加した。	拡充・充実	引き続き美杉地域の積極的なPRや地域での受け入れ態勢の充実に努め、交流人口及び定住人口の増加を図っていきます。電動アシスト付き自転車のレンタル事業は、公共交通機関の弱い地域に合って有効な移動手段であることから、安全に運営できるように努めていきます。田舎暮らし体験塾について、今後も地域が運営する新たな宿泊体験可能な施設の整備も出ていることから、これらの施設利用も含めて実施する必要がある。 また、空き家リノベーション補助事業により、移住や二地域居住者が増加を図っていきます。
美杉・地域振興課	その他運動施設管理運営事業	市民がスポーツを通して、緑に囲まれた自然とも触れ合うことにより、心も癒してもらえ、場・コミュニティづくりなどを目的とした交流の場として活用してまいります。また、当施設は市外の方の利用が多いこともあり、さらなる集客を得るため施設の整備清掃、安全・安心に利用できるように、適切な維持管理に努めます。	施設利用者数	コミュニティづくりなどを目的とした交流の場として利用されているか	300回	250回		施設利用者から苦情等はないことから、適切な維持管理は行われていると考えます。	4	施設管理に力を注ぎ、気持ちよくスポーツが出来る環境作りに努めました。	現状維持	適切な施設の維持管理を図るとともに、利用しやすい環境整備に努めていきます。
美杉・地域振興課	レークサイド君ヶ野維持管理事業	県内外から美杉地域を訪れる方々にレークサイド君ヶ野を利用いただくため、プレミアム旅行券利用施設に登録をしたことを機会に、今後は地域のイベントや施設を活用した宿泊プランを提供し、利用者の増加を図りたい。食事も地域の特産物を利用し、お客様に楽しんでいただける「おもてなし」の方法で提供したい。また、近隣地域の方々にも会合や慶弔事等の利用をいただくためのサービスを実施し地域に根差した施設として利用促進に努めます。	利用者数・宿泊客数	利用者の増加が収支の改善を図る一つの目安となるため、利用者数を成果指標の判断基準とします。	17,000人	3,747人		宿泊客、レストラン利用者とも減少しました。レークサイド君ヶ野の組織見直しに伴い、約3カ月間、来客者への対応が十分にできなかった。	2	レークサイド君ヶ野の運営については、臨時職員を中心に事業を進めるなか、臨時職員の退職による運営の一時中止及び、全面開通された名松線の活用の不備（周知不足等）並びに、地域と連携した施設のあり方等の検討が十分にできなかった。	見直し	季節に応じた食事メニュープラン、周辺イベントを盛り込んだチラシ等PRの実施により新規利用者等の利用数拡大を図るため、森林セラピーウォーク、名松線を利用した宴会プラン等、多岐にわたるプランの提供など取り組みを充実させ、収支状況の改善を図っていく必要があります。

美杉総合支所

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成28年度）					事業の評価		所管課長等による評価		
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成29年度以降の事業の方向性	所見
美杉・地域振興課	観光施設等維持管理事業	県内外から美杉地域を訪れた来訪者が、スカイランドおおぼら、その他観光施設を利用いただくことで、特産品の提供、大自然でのアウトドア体験、パターゴルフ体験、天体観測体験、自然歩道散策等を通じて、心と身体のリフレッシュを促し、当地域のファンとなり、リピーターとなっていただくことにより、交流人口の増加を図ります。	入込客数	入込客数の増加が観光客数誘致の一つの目安となるため、入込客数を成果指標の判断基準とします。	1,000,000人	66,923人		昨年に比べて入込客数が減少したため、イベント開催及び各種メディアにおけるPRを強化します。	3	各キャンプ場等の観光施設をインターネットによるPR及び、各種メディアでのPRを推進することにより、観光客誘致の一定の成果があったと思われる。今後も、各イベント開催においてPRを継続することにより、観光客誘致を図る必要性がある。	現状維持	名松線の全面開通、森林セラピー事業等により美杉地域への来訪者の増加が予想される中、各拠点施設整備環境の充実を図り、集客及びリピーターの確保に向けて、新たなPR方法の検討や効率的な施設運営の検討が必要と考えられます。
美杉・地域振興課	道の駅美杉維持管理事業	利用者の方々に美杉地域の観光施設や森林セラピーの情報発信は基本であるが、プラスαとしての機能をもたせるため地域内の団体等の協力を受け、週末の参加型イベントを定期的で開催し、例年実施しているサンクスフェスタの内容も再度検証することにより施設内での滞在時間の増加による特産品等の販売促進につなげると共にサイド000の訪問者の増加も図りたい。	利用者数	利用者の増加が収支の改善を図る一つの目安となるため、利用者数を成果指標の判断基準としました。	40,000人	33,916人		前年に比べて利用者数が減少しました。近年の傾向による消費力低下によると考えられます。	3	前年度より、集客が減少した結果となった。周辺観光を活用した周知が図れなかったことなどが原因と思われる。	現状維持	名松線利用者によるゴールデンウィーク無料送迎バスなどの企画により集客を図りました。引き続き、他の観光施設のPRと合わせて、HPでのPRを推進し、例年実施している道の駅美杉サンクスフェスタもさらに充実した内容となるよう再度検証することにより観光客誘致を図っていきます。
美杉・市民福祉課	斎場業務管理運営事業	津市火葬場(美杉八知火葬場・美杉伊勢地火葬場)の適正な管理運営を行うことにより、公衆衛生、その他公共の福祉及び市民サービスの充実に努めます。 平成27年度から、美杉地域6箇所あった火葬場を2箇所に整理統合し、業務運営は地元自治会等の指定管理から直営(業務委託)に変更。平成26年度まで、市民課の斎場管理業務運営事業に含んでいたが、いつくしみの杜での業務が開始され、津斎場・久居斎場及び香良洲斎場は廃止されたことにより、津市火葬場として新規事業で評価を行います。	火葬場の運営及び維持管理	火葬場の運営・維持管理が自治会等の指定管理から、市直営(業務委託)に変更。業務委託業者により、遺族に対し丁寧な対応をマニュアルより指導し、適切な維持管理を行います。			火葬業務に関して、遺族に納得いただけるよう、霊柩車の受入から火葬・収骨及びお見送りまで丁寧な対応を行い、維持管理においても地域のニーズに対応するよう効率的な管理・運営を目指します。	地域のニーズに対応し、効率的な管理・運営を図る事が出来ました。	4	地域のニーズに対応し、効率的な管理・運営を図る事が出来ました。	現状維持	火葬業務に関して、遺族に納得いただけるよう、霊柩車の受入から火葬・収骨及びお見送りまで丁寧な対応を行い、維持管理においても地域のニーズに対応するよう効率的な管理・運営を行います。 また、本年度で3年の火葬業務委託契約が終了することから、本年度末に入札を行う予定です。

美杉総合支所

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成28年度）						事業の評価		所管課長等による評価	
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成29年度以降の事業の方向性	所見
美杉・市民福祉課	地域ケア推進事業	美杉高齢者生活福祉センターは、本市に住所を有する高齢者に対し、介護支援機能、居住機能及び交流相談機能を総合的に提供することによる高齢者福祉の増進を目的としています。	施設利用者数	市民生活への寄与の度合いと市民の関心の状況を利用者人数の推移を見ながら判断しつつ、今後の管理運営への指標とします。	5,000人	5,172人	高齢者に対して、温かく思いやりの心を持って共に生きる地域社会を推進し、安心して生活できる施設を目指します。	生活支援ハウス入居者が前半4名であったが8月～1月は6～7名と増加したため昨年度より利用者増となった。2月～3月は5名の利用者となっている。デイサービスにおいても本年度は利用者増となった。	2	生活支援ハウスについては、恒常的に利用があり、事業の必要性は継続しています。本年度は空調設備等の大規模改修や教育娯楽室を日常動作訓練室として改修を行うが、施設開設から、24年以上が経過し、施設維持のため施設の老朽化による修繕費用が増高傾向にある。	現状維持	地域の高齢者に対する福祉サービスのセンターとして、併設されている居宅介護支援事業所(社会福祉事務所)とともに事業を継続します。 また、本年度において高齢者生活福祉センター内、教育娯楽室を日常動作訓練室としての活用を行うため改修工事や空調設備の改修を予定しています。 本年4月から同施設内に津市家庭医療クリニックが開設されたことから、今後も利用者の増加が見込まれ、施設維持に努めます。
美杉・地域振興課	地域インフラ維持事業	地域要望等に基づく道路、河川、公園及び交通安全施設等の地域インフラの維持修繕について、単価契約による委託業務及び施設修繕等において即時対応を行います。	地域要望に対する迅速対応	地元地域住民の要望への迅速に対応を成果指標とします。			地域住民からの要望に対する迅速かつ柔軟な対応を推進する。	地域の要望に関する維持管理等について、概ね対応できています。	3	地域から様々な要望に対し、現場と確認し迅速に対処しておりますが、緊急性などから着手できていない事業もあります。また、地域性から冬期の雪氷対策に苦慮しているところ です。	拡充・充実	地域からの要望に対し、迅速な対応が概ねできていますと考えていますが、緊急性などを検討しながらより多く対応ができるように努力していきます。
美杉・地域振興課	地域インフラ補修事業	地域において即答・即応が求められる案件に、より一層迅速、的確かつ柔軟に地域に密着した対応を図るため、総合支所職員による公共施設等の簡易な補修、修繕及び地域への原材料の支給等を行った。	地域要望に対する迅速な対応	道路パトロールの強化、地元地域住民からの要望への迅速な対応を成果指標とします。			地域住民からの要望に対する迅速かつ柔軟な対応を推進する。	早急に現場を確認し、迅速な対応をすることができた。	4	要望等があった場合に、早急に現場を確認し、迅速な対応をすることができました。	拡充・充実	要望等があった場合に、早急に現場を確認し、迅速な対応をすることができました。今後より一層迅速な対応ができるようにしていきたいと考えます。